

重要技術領域について（案）

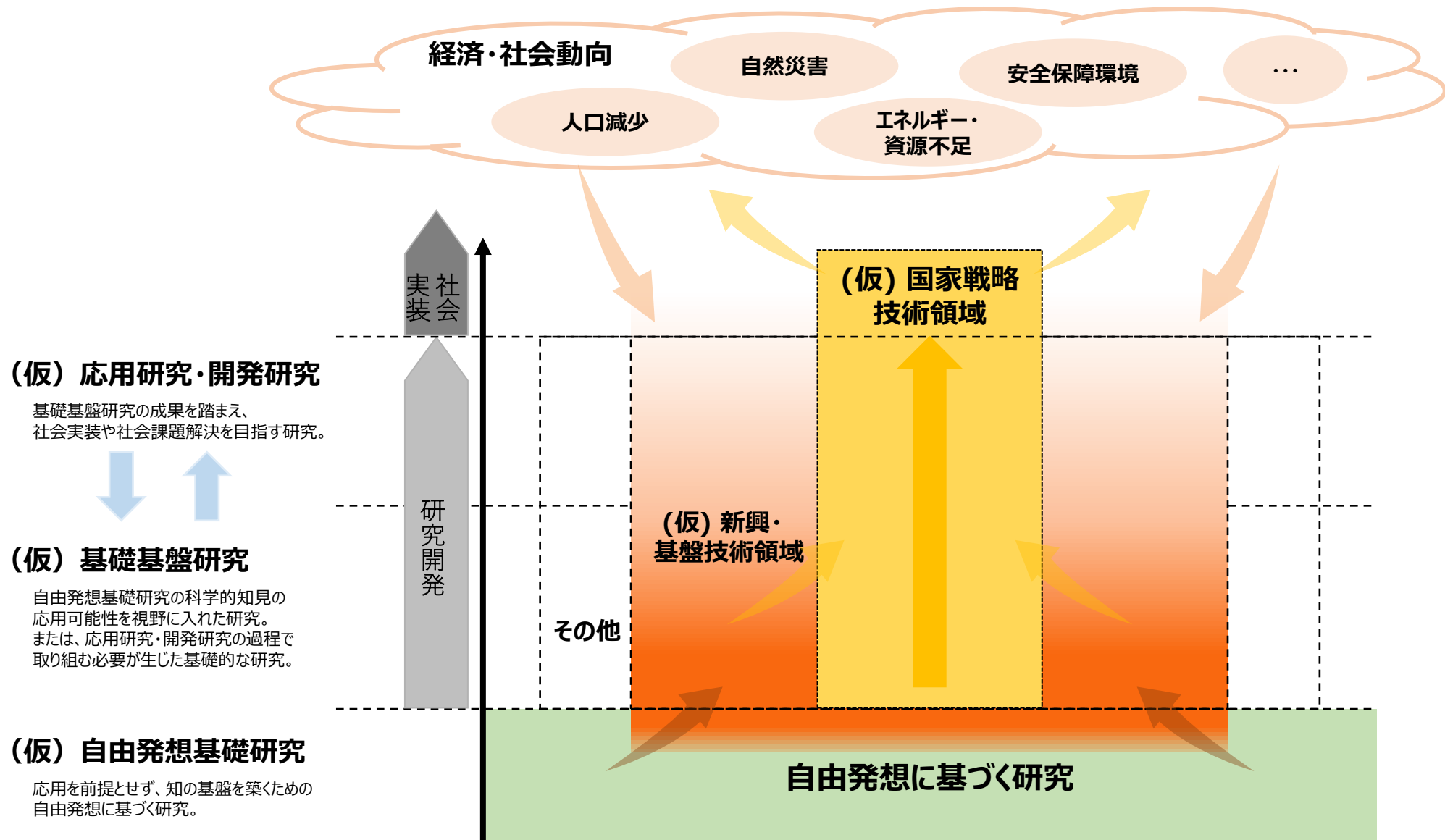


2025年10月2日

内閣府 科学技術・イノベーション推進事務局



各技術領域の位置付け



＜（仮称）新興・基盤技術領域＞

- 我が国の経済社会の発展、国民の福祉の向上、更には世界の科学技術の進歩、人類社会の持続的な発展への貢献などの観点から、総合的な安全保障などの動向・情勢や我が国の科学・技術の立ち位置も踏まえつつ、次期基本計画の下で振興すべき新興技術や基盤技術領域。
- なお、本領域は、
 - ① 経済社会の発展、福祉の向上、総合的な安全保障等の上位概念から導かれる要素、
 - ② アカデミアの自由な探求から見えてくる有望性や潜在性等の要素、つまりトップダウンとボトムアップの情報を接合し、我が国の経済・社会・科学の発展を支える基礎・基盤技術となる可能性のある技術領域として選定する。
また、本領域はその性質に鑑み、状況の進展に応じて柔軟に見直す。
- 本領域に対しては、政策分野ごとに各府省庁が持つ柔軟性の高い予算措置等（ムーンショット型研究開発制度、経済安全保障重要技術育成プログラム（K Program）、戦略的創造研究推進事業（CREST等）、フロンティア育成・懸賞金事業等）において重点的に配分するとともに、本領域に関わりの深い国研の取組を強化することで、支援を行う。

＜（仮称）国家戦略技術領域＞

- 科学技術が国家の安全保障、経済成長、そして産業競争力と不可分の関係にある中で、将来の我が国の自律性・不可欠性の確保、将来性のある成長産業の創出を進めることを目指し、
 - ① 経済成長や社会課題解決等の将来性、
 - ② 技術の革新性や有望性、
 - ③ 我が国の科学・技術の優位性や潜在性、の観点から、一気通貫支援によって科学と産業を結びつけ、次期基本計画の下、関連する人的・物的資源を国内に確保していくことを目指すべき技術領域。
- なお、集中投資が重要であること、政策資源が有限であることに鑑み、当該技術領域は数分野程度に限る。
各技術領域の特性に応じ、関連する素材・材料、生産技術等であって戦略的に重要な技術についても支援の対象とする。
また、各領域の政策の連動性を加味し、政策ツールの性質に応じて、各技術領域における個別技術の適用範囲を精査する。

国家戦略技術領域に対する一貫通貫支援のイメージ

人材育成の強化

- トップクラスのエンジニア等も含めたイノベーションを支える高度人材を確保するため、産学官連携による人材育成の強化、企業における博士人材の活用促進等の推進。
- 先端技術分野における国際頭脳循環の推進を含めた産業界・アカデミア双方での優秀な人材層の抜本的な充実・強化や研究開発力の飛躍的向上の推進。

研究開発投資の インセンティブ重点化

- 企業によるリスク投資の呼び水としてのインセンティブ措置の強化の検討。
- 研究開発税制において、研究開発一般を広く後押しすることの重要性も踏まえつつ、戦略的に重要な技術領域に焦点を当て、民間投資を促進する措置を検討。
- 革新的な技術に対する中長期的な民間投資を促すべく、民間企業にとって予見性が低い領域におけるこれまでの支援策や諸外国の支援策も参考に、政府の中長期的なコミットを明確化。

大学等の研究拠点 との連携強化

- 研究開発税制における重要技術領域に関する特定の大学等の研究拠点と民間企業との連携を中長期的な目線で深めていくためのインセンティブ施策等の強化を検討。

スタートアップ等支援

- ディープテックスタートアップについて、創業段階で必要となる研究開発や経営体制の強化から、事業化段階で必要となる設備投資等まで、一貫して支援する仕組みを構築。

オープン&クローズ戦略 策定支援

- 分野を特定し政府のリードによる戦略的標準化活動の推進、標準化戦略策定から規格開発・活用まで一貫して進める体制の構築、国内外規制対応・認証基盤の充実等を通じた国内認証機関の強化等。
- 重要技術領域に関する円滑な標準策定支援。

国際連携の強化

- 同盟国・同志国等との国際連携を強化。
- 国内プレイヤーの海外展開や輸出を推進。